

# 広報特別委員会

日 時 令和5年4月18日（火）  
午前9時  
場 所 第1委員会室

## 付議事項

1 議会だより第69号の校正について

2 市議会モニターへのアンケート調査について・・・資料1

3 その他

・次回委員会開催日時 令和5年5月1日（月）午前9時

## アンケート調査結果【令和4年9月29日アンケート実施】

## 1. 市議会だよりについての感想や、改善点（掲載してほしい内容等）についてご意見をお聞かせください。

- ・重要な項目等は現行の字体、大小、黒の白抜きを継続すべきです。インパクトがあって読みやすい。
- ・上記同様に印象すべき事項は波\_\_\_\_\_の罫線を加えては？
- ・市長自体の回答が無い。
- ・「The 市議会」は、おおむね3か月に1回の発行のようである。薄い本であるから背表紙は無い。こういう薄物の本は表紙を工夫しないとどの号（Vol. ▲●）にその記事が掲載されていたのか判断しにくい。例えば、添付見本のように大きな項目を表紙に列記して、なにが掲載されているのかを明確にする。項数は末の13項くらいの下半分に列記する。アニメは無しか、小さくしてよい。
- ・市議会ってどんなところ？ 分かりやすく説明

（例）市議会とは？

わたしたちの「山陽小野田市」を住みよいまちにするためには、みんなでどうしたらよいか考えていかなければなりません。でも、みんなが集まって話し合うのは大変です。そこで、わたしたちはみんなの代表を選んで（選挙）、代わりに話し合いをしてもらいます。その代表が「市議会議員」で、議員の集まりが「市議会」です。市長もみんなで選んだ代表です。

市議会では市長が計画した仕事やお金の使い方（予算）、市の決まり（条例）などについて、それでよいのかどうか、話し合っ決めてます。市長は、市議会で決まったことをもとに市の仕事を進めます。市議会と市長はお互いに意見を出し合い、協力して市民の幸せのためにいろいろな仕事をしています。

- ・市議会議員ってどんな人？ 分かりやすく説明 個人的な人物の説明ではない。
- ・傍聴 分かりやすく説明

（例）傍聴

本会議や委員会の様子を知りたい人は誰でも見学することができます。これを「傍聴」と言います。

- ・請願 分かりやすく説明

（例）請願

市の仕事は市民一人一人の暮らしにつながっています。市民は「こうしてほしい」という希望や意見を文書にして、議員を通して市議会に出すことができます。このことを「請願」といいます。議員を通さず市議会に希望や意見を文書にして出すことは「陳情」といいます。

- ・白黒なので赤系の色を入れたら見やすくなると思います。
- ・議員の写真は話している写真を使ってみてはどうですか。
- ・議会であったことだけをレイアウトとして書くだけでなく、市民が年代を問わず、ちょっと思うことを言えることがあるといいと思う。伝えるときは相手のことを知

らないと一方的だと伝わらない。

- ・ふざけた紙面は反感を招くと思いますが、遊び心のある紙面だといいいかな。
- ・陳情、請願の類についての内容と結果
- ・議会にとって良いことだけでなく、良くないこと（政倫審等）、うまくいかなかったこと（山田の反省）等について学びとしてオープンにすることで関心を持ってもらうこと。
- ・文字を大きく様々な障害を持った方々に配慮したユニバーサルデザインを考慮した市報にしていきたいです。
- ・まず、目につくのが漫画チックな表紙です。子供たちが手に取りたいようなものですが、各世代においてははどうでしょう。各世代の方に意見を聞きたいものです。内容は大変重厚なものが多く、子供たちが読むことはないと思います。偉い年寄りではなく普通の各世代の市民にインタビューをし、各世代が読みたくなるような記事を載せたらどうでしょうか。①
- ・文字の大きさや太さを変えており、全体的に読みやすいと思います。
- ・若者向けに議会のHOW TO部分があってもいいと思います。写真等の量を増やし視覚的に分かりやすくしてもいいと思います
- ・議員ごとの年間質問数（議会）等が記載されても良いのではないのでしょうか。

## 2. 市議会のホームページやフェイスブックの感想や、改善点（掲載してほしい内容等）についてご意見をお聞かせください。

- ・カラーの写真等を導入しては
- ・今、「山陽小野田市議会」のホームページを開いているが、「フェイスブック」とは最下段の「シェアする」、「ツイートする」、「LINE で送る」の総称を示していると思われる。これは、「The 市議会」と比較すると、いつでも、どこでも、誰でも（識字能力・視覚障害等のある方には制限がある）という訳にはいかない。また、前記3項にはメールアドレス、パスワード等を入力しないと見ることもできない。情報伝達、事務連絡等でこの手段が使われると中継する者は大迷惑。
- ・市議会ってどんなところ？ 分かりやすく説明
- ・市議会議員ってどんな人？ 分かりやすく説明 個人的な人物の説明ではない。
- ・傍聴 分かりやすく説明
- ・請願 分かりやすく説明
- ・ホームページ 議員紹介で議員の年齢や紹介が少ない。いろんな情報があれば興味を持ってもらえるのではないか。
- ・フェイスブック 若い人がどれくらい見ているのか分からないが、他の SNS の活用も検討してみたいか。
- ・見ていませんので・・・
- ・HPの最新情報が有効に活用されていないように感じます。
- ・議会のカレンダーに掲載されている事項（本会議・一般質問・委員会・市民懇談会

等)の日程決定や開催当日の案内、非公開であっても研修会の開催等を事細かくこまめに掲載することでちよくちよく開いて見ることにつながるのではないかと思います。

- ・委員会や、定例会や本会議の動画配信を山陽小野田市の公式のYouTubeチャンネルでされていますが、本会議を視聴していて、一体、議員の中でどなたが発言を述べているのだろうと感じるときがありました。ですから9月定例会の時と同様に委員会でも、指名をされ、一番最初にその議員が発言したときに、その議員の名前と発言内容も字幕を入れていただきたいです。
- ・議事録検索システムについてですが、もっと文字を大きく濃く見やすいようにしていただきたいです。それから議事録の検索をするときのチェック項目を簡素化することはできないのでしょうか。
- ・それから配信時の音声をクリアーに聞き取りやすくしていただきたいです。
- ・ホームページも、様々な障害を持った方々に配慮したユニバーサルデザインを考慮していただきたいです。
- ・フェイスブックやホームページを見るお年寄りには10人に1人もいるのでしょうか？パソコン勉強会を開催してもわずかな方しか参加されないと思います。お年寄りには議会だよりは難しすぎると思います。地域の議員さんが地域のお年寄りからお話を聞いて載せたらどうでしょうか？〇〇地区ふれあいインタビューなど。他の世代はこれでもいいと思います。各世代が興味を持つ内容にしていいただきたいと思います。②
- ・ホームページやフェイスブックを活用されていますが、どのくらいの方が見ているのでしょうか？
- ・フェイスブックのページの認知度を高める試みが必要かと思います。
- ・ホームページはデザインが市のサイトとほとんど同じなので、雰囲気を変えてもいいかと思います。
- ・いいねのアカウントを見るとほぼ同じ人がフォローしている。閲覧数を考えると継続か停止することも踏まえて協議する必要あり。
- ・誰に向けて情報発信しているのか明確にした方がよい。(ターゲットを絞るか)若者向けでは無い。

### 3. どのような広報活動が必要であり、有効策と思うかご意見をお聞かせください。

- ・町へ出向いて市民にインタビューして、市議会等への助言、感想等の意見を聞く欄を新設しては。
- ・より多くの市民が市議会の活動に興味を持ち、自分のこととして捉えてもらうためには広報活動は必須だ。現在、私が知っているものは「The市議会」だけである。9月29日の市議会モニター意見交換会の出席者からの意見で、「議会を閉じた後は、3か月後でないとな次の議会は開かれず、市民への周知伝達も遅れる。」があった。これでは遅い。市民に配布される小冊子は、「広報さんようおのだ」が一番大量

で期間も半月に1回である。この小冊子は「市議会コーナー」を設け、課題を伝えてはいかがか。

- ・市議会ってどんなところ？ 分かりやすく説明
- ・市議会議員ってどんな人？ 分かりやすく説明 個人的な人物の説明ではない。
- ・傍聴 分かりやすく説明
- ・請願 分かりやすく説明
- ・課題を絞って、その経過を発信してみるのはいかがでしょうか。
- ・ターゲットを絞って（高齢者・子育て世代等）知りたい、必要と思える情報を発信してはどうか。
- ・中学生、高校生にも積極的に関わる機会をつくって興味を持ってもらう取組も必要と思う。
- ・的をしぼるとか、まだまだ工夫がいきます。できないじゃなく、大学、高校、中学生の意見を聞いてしたら、もっといいアイデアが浮かぶのでは。広報する原点をもう少しきちんと考えるべきと思う。
- ・質問の具体策はもちろん大切ですが、「山陽小野田市議会」の売りはなんでしょうか。その「売り」を明確にしてそれを生かすための諸策を考え実行していくという、一つ一つの積み上げが必要ではないかと感じています。
- ・山陽小野田市のテーマである『smileCity 山陽小野田市』という言葉とロゴをより多くの方々に知っていただきたいです。そのために、山陽小野田市議会の定例会や委員会や本会議が始まる前に『smileCity 山陽小野田市』という言葉とロゴを視聴している方々が、思わず注目して観るように、例えば、音と動きをつけて表示してみるとというのは、どうでしょうか。そして、その表示の後に定例会や委員会の映像が始まるというのはどうでしょうか、缶バッジと封筒も引き続き継続していただきたいです。
- ・①②の内容は有効な広報活動にあたると思います。市議会モニターの意見を掲載することで、市議会や委員会等に関する市民の意見が少しでも反映されと思います。内容は素晴らしいと思いますが、白黒ばかりで読みにくい。予算はどこから出るのか分かりませんが、カラーにしていただけたらと思います。もし、市の予算であれば市の広報並みに予算要求をして欲しいと思います。
- ・委員会や報告等も必要ですが、市議会のPR動画や仕事内容を分かりやすくまとめた動画等があってもいいかと思います。
- ・中身に関してはとても大切な情報であり、見れば理解はできるように記されていると感じる。
- ・市民全体に知ってもらいたいのか、年代を絞って発信するのか考えても良いと思う。
- ・若者はフェイスブックでなく、インスタグラム、T i k T o kを活用している。
- ・若年層の投票行為や市政への意識を高めることがこれからの山陽小野田市に必要と考えます。